

ひと 「一つたたら」

〔那智勝浦町〕

昔、那智の奥山に、「一つたたら」という怪物があらわれた。身の丈約9メートル、目がひとつ手も足も一本、疾風のように現れ、民家を襲いました。腕に自信のある何人かの武士が、怪物退治に行きましたが、帰ってきた者はありません。しかし、平家の一族と言われる刑部(ぎょうぶ)という落武者が、怪物の皿のような大きなひとつの目に狙いを定め、一矢にして射抜きました。この功勞で貰った褒美の品は村々に寄付されました。

参考/和歌山県ふるさとアーカイブ



7

2022 / July

8月
2022年

日 月 火 水 木 金 土
1 2 3 4 5 6
7 8 9 10 11 12 13
14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27
28 29 30 31

日	Sunday	月	Monday	火	Tuesday	水	Wednesday	木	Thursday	金	Friday	土	Saturday
26		27		28		29		30		1	友引	2	先負
3	仏滅	4	大安	5	赤口	6	先勝	7	友引	8	先負	9	仏滅
10	大安	11	赤口	12	先勝	13	友引	14	先負	15	仏滅	16	大安
17	赤口	18	先勝 海の日	19	友引	20	先負	21	仏滅	22	大安	23	赤口
24	先勝	25	友引	26	先負	27	仏滅	28	大安	29	先勝	30	友引
31	先負												

どろ ぬし 「瀨の主」

〔新宮市(旧熊野川町)〕

昔、瀨のあたりに幸右衛門という若者が住んでいた。と、そこへ一人の娘が現われ、なにも告げないまま、嫁になってしまった。やがて身ごもりお産が近づくと、女は幸右衛門に「川のほとりに小屋を建ててくれ」といい、そこで子どもを生んだ。だが、それは瀨の主の大蛇で、幸右衛門に正体を見られると、水中深く姿を消してしまった。それからしばらく、赤ん坊を乗せた小舟をこぎ回る幸右衛門の姿がみられた。

参考/和歌山県ふるさとアーカイブ



8

2022 / August

9月
2022年

日 月 火 水 木 金 土
1 2 3
4 5 6 7 8 9 10
11 12 13 14 15 16 17
18 19 20 21 22 23 24
25 26 27 28 29 30

Sunday	月	Monday	火	Tuesday	水	Wednesday	木	Thursday	金	Friday	土	Saturday	
31	1	仏滅	2	大安	3	赤口	4	先勝	5	友引	6	先負	
7	仏滅	8	大安	9	赤口	10	先勝	11	友引 山の日	12	先負	13	仏滅
14	大安	15	赤口	16	先勝	17	友引	18	先負	19	仏滅	20	大安
21	赤口	22	先勝	23	友引	24	先負	25	仏滅	26	大安	27	友引
28	先負	29	仏滅	30	大安	31	赤口	1		2		3	